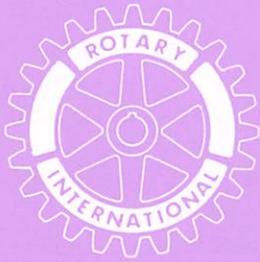


THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 三好 親
 幹事 伊藤 健文
 広報・会報委員長 吉田 玄

No. 5

地域を育み、大陸をつなぐ BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS

2010~2011年度 RI会長 レイ・クリンギンズミス

今日の例会

第1327回 平成22年8月17日(火)
 クラブフォーラム 桜花学園IAC活動報告

先週の例会

第1326回 平成22年8月3日(火) 晴
 卓話 “2050年の世界地図。知識としての新興市場”
 会員 喜多 康夫君
 “野球というスポーツを通じて得たもの”
 会員 高橋 智尚君

- ◆君が代
- ◆我等の生業
- ◆出席報告

会員 43(39)名 出席 30名
 出席率 76.92%
 前々回 7/20(修正出席率)94.59%

伊藤幹事報告

- 1) 次回例会は8月17日で、例会終了後、諮問会を開催致しますので担当の方はお残り下さい。10日は休会となっております。
- 2) ロータリーの友8月号が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。

三好会長挨拶

この前、海にタコ釣りに行きました。釣果は10杯程。大変美味しく頂きました。山でも海でも大自然の中で遊ばせて貰うということは、多少のリスクが伴うと思います。命に影響するものは回避しなければなりません。もちろん、仕事の時でも大自然と向き合うには同じことが云えると思います。様々な状況との遭遇、いろいろな生き物ハチ、クマ、サル等との遭遇。

何年前か前、私が鈴木会長のもと幹事をさせて頂いた年ですが、左腕肘脱臼、左手首骨折という羽目に陥ったことがあります。

山に入った時は、上るときも下るときも緩い所、危ない所は避けて行動する「高巻き(トラバース)」つまり遠回りの事です。

山奥に入り、林道から河原まで約30m、通常は滑らな

いように少々遠回りでも根の張った木のあるところに掴まりながら降りるのですが、そのときの私は山をあまく見てしまい、一番近いルートで全く草木の生えていないガレ場を選択してしまいました。

子供の頃よく遊んだようにザーザーッと滑りながら降り始めもうあと2~3mのところへ来た時、足が引っ掛かりました。そこから数秒空白となり、気が付いてみたら川原に倒れていました。見ると右手には携帯竿をしっかり持っていましたが、左腕が見当たりません。案外冷静で左腕がチギレたにしている血が出ていないと思ったことを覚えています。実は左腕は肘が完全にハズレ外側にプランとしていました。全治数ヶ月。後遺症でその後のゴルフが最悪となりました。

今思えば「急いては事をし損じる」「急がば回れ」立派な格言がありました。中国でも孫氏の兵法「迂直の計」といった名言があります。

慎重に慎重を重ねる、念には念を入れる、自然の中で行動するにはいろいろなリスクを考えて行動したいと思えます。遊ぶ中で人生にも通じる良い教訓を得ました。

◆卓話 “2050年の世界地図。知識としての新興市場” 会員 喜多 康夫君



東海東京証券の喜多です。今年2月に入会させて頂き、早いもので約半年。そんな若輩者の私に卓話の機会を頂き、大変ありがたく思うと同時にさて何のお話なら御興味を持って頂けるか？まさか私自身の話をしても5分で終わってしまいます由、やはり普段仕事でお客様に話をしております大法螺に若干お付き合い下さい。

さて2050年の世界地図というテーマですが最近良く聞く言葉にBRICSと謂う造語を耳にする機会が多いと思います。これは2003年ゴールドマンサックスが命名。2050年の世界の経済地図は中国、米国、印度、日本、ブラジル、ロシアの順番になる。以下ベトナム、インドネシア、南アフリカ、トルコ、アルゼンチン、これをVISTAと称します。これはどんな観点からの発想かと申しますと、ざばり人口であり世界の人口現在69億人が2050年に92億人になるわけですが内、先進国17.8%が2050年には13.5%、発展途上国82.2%が86.5%つまり途上国がこれから23億人増えるのに対し、先進国は1200万位しか増えない。ちなみに日本は1億2700万人が50年には

9500万人だそうです。つまり成長の源は人口パワーであると謂えます。ちなみに今世界1位は中国、以下印度、米国、インドネシア、ブラジル、パキスタン、バングラデシュ、ロシア、ナイジェリアで第10位が日本ですが独は8千万人英仏で各6千万人です。そこでこの人口について「働き手が養われている人の何倍いるか」と謂う考え方があり「人口ボーナス」と読んでおり国の生産年齢人口(15~64)を従属人口(14歳以上65歳以上)で割る公式で出します。指数が2倍を越えるとボーナス期がピークとなり同時期に経済成長が急加速します。日本は1990年がピークで2.3。現在は1.7。2050年には1.04です。つまり働き手と養われる人口がほぼ均衡。この考え方で発展途上国を見ると印度が2040年に2.28、インドネシア、ブラジルが2020年に以下バングラデシュ、南アフリカが40年にピーク、逆に中国は2010年の2.56がピークで以降ゆっくりと高齢化社会に向かって行く様です。次に中間層の台頭と云うのが大きな経済成長のメカニズムになっています。中間層とは年収ベースの世帯可処分所得(自由に使えるお金)が5千ドル(45万)以上3万5千ドル(300万)未満を謂い特にアジアの人口が2010年31億人より30年には36億人に増加するのに際して爆発的に台頭してきます。たとえば高所得者層(3万5千ドル以上、(300万以上))の人口は日本では9千万人(総人口の70%)に対し日本以外のアジアでは、たった7千万人つまり31億人の2%に過ぎませんが、この中間層は8億8千万人と2000年と比べて中国で6倍、印度で5倍、ASEANで2倍に急拡大しています。

発展途上国由のリスクも高いですが、日本企業もその市場を無視しての成長はありませんし、今後世界の勢力図は大きく変化していく事を認識し経済ニュースや新聞等でご覧になれば少しは違った世界が見えてくるのではないのでしょうか。

◆卓話「野球というスポーツを通じて得たもの」
会員 高橋 智尚君



今回このような機会を頂き有り難うございます。「仕事」か「趣味」についてお話ししようとも考えたのですが、私の今までの人生や思想においてきっても切り離せないのが「野球」というスポーツである事から、テーマにさせて頂きました。

「野球」というスポーツに出会ったのは幼稚園の頃です。当時は、ただ投げて・打って・走って・捕ってという単純な動作に喜びを感じておりました。その後小学4年生の時に正式なチームに所属しました。それから約20年間「野球」のない生活は一日足りともなく、それを失う人生の恐怖感さえ憶えておりました。自分の技術を磨く事。勝負(相手)に勝利する事。昨日より早い球が投げられた・昨日より遠くに打つ事が出来た・昨日より早く走れた・昨日より守備が上手くなったなど、そんな些細な事に一喜一憂していたものです。そんな事の繰り返しの中で、自分が目標に向かって・夢に向かって努力する事の素晴らしさや意義を感じ、自分を成長させてくれる大切なのだと実感しました。最近では、がむしゃらに努力する人を若い人達は格好悪く言ったりします。と

ても残念な気持ちです。ひたむきな努力やそのプロセスを経ていくなかで得るものは沢山あります。体力的な鍛錬やメンタル的な苦勞を数多く経験する事が自己成長に繋がるものだと、社会に出た今痛感しております。また、人を思いやる気持ち。仲間を大切にしている心。人間は一人では生きていけない。誰かに支えられて生きている。そんな事を教えてもらった気がします。ここからは少し具体的な経験をお話しさせて頂きます。

①目標達成意欲

先程も述べましたが、自身の夢や目標を立てそれに向かって夢中に追いかける。かけがえのない経験だと思っております。簡単には結果は出ません。しかし、我慢し忍耐強く努力する事。また、その壁を越えて得る事が出来た達成感。この事が自信に繋がり次へのステップとなるのです。自己成長させるためにはとても重要な事だと思いますし、周囲の人達に与える感動や影響は大きいものがあると考えます。

②忍耐力と最後まで諦めない心

学生の頃はハードな練習にも耐え、炎天下の中、水も飲ましてもらえず練習に明け暮れ、いつ倒れてもおかしくない状況でした。いわゆる昔で言うしごきにも耐えなくてはなりません。監督・コーチ・先輩からの指示は絶対でした。今の子供達(自分の子供をみても)は簡単に、出来ない・それは嫌・そこまでするのならやめる。まるでテレビゲームで失敗したら、ボタンを押して一度リセットし、続きを始めるかのような事が出来ない時代でしたから、そんな事が培われたのだと思います。

今では環境に、時代に感謝しています。

③連帯意識(チームワーク)

「野球」というスポーツはチームプレーがとても重要です。一人一人の能力が高くても、組織としての意識が薄いとチームはバラバラとなり、個々の能力を発揮する事なく良い結果は出ません。大切なのは、周りを活かす事が自分を活かす事になるのです。社会に出ても同じ事が言えます。自分本位な行動をとる人間には誰も寄り付きません。また、ワンマン経営も衰退していきます。お互いが相手を思いやる気持ちをもつ事の重要性を意識出来たのも、「野球」からです。

私自身大した人間ではありませんが、今こうして世の中である一定のポストをいただき、日々仕事をさせて頂く事が出来るのも、「野球」というスポーツを長く経験出来たからだだと冷静に感じております。この環境を作ってもらった両親にまず感謝しています。そして、それを支えてくれた周囲にも感謝です。とても文書で表現する事が出来ない様な経験を長期間しました。今でも当時の仲間とは年に1回の間隔で会っております。ある種異常な時間や空間を共に過ごした仲間ですから、家族とは別の絆で結ばれています。彼らとの関係は私にとっての宝物です。誇りです。一度きりの人生でこの様な経験や出会いを出来た事に喜びを感じています。

次世代に何か伝える機会があるとすれば、野球の素晴らしさも伝えたいですが、それよりも多くの仲間を作る事を勧めたいと考えます。その近道が何かの組織に属する事。お互い切磋琢磨し成長し合える環境下に入る事を強く勧めたいと思います。今回千種ロータリークラブさんに縁あってお世話になる事が出来ました。諸先輩方いろいろご指導頂きながら、世代を越えてお付き合い出来る事を楽しみにしております。

◆ニコボックスは次回掲載させて頂きます。